

本校は、建学の精神「社会福祉への奉仕と愛」のもと、本校の教育目標を達成して歯科衛生士として現在の社会福祉に貢献するため、3つのポリシーを定めることで障害は克服できるという強い信念を持った「口腔からの健康をサポートするスペシャリストを養成する」育成を行っています。学生は、これらのポリシーに沿って能動的・主体的に学修し、医療の第一線で活躍する専任教員や講師が学生の学びを支援します。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

1. 医療のプロフェッショナルとしての自覚と倫理観を備え、医療、保健およびその周囲の多職種と連携し、チームの一員として協働できる能力
2. 歯科・医療・福祉分野に関わる専門職として必要とされている幅広い知識と技術を獲得し、対応する人々の気持ちや行動を理解できる能力
3. 医療・保健・福祉・教育の各分野で歯科衛生士として向上心と探求心をもち、自ら学び続けることができる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

1. 豊かな人間性、社会人基礎力、高い倫理観を身につけることを目的とした基礎科目と総合学習を配置する。
2. 歯科衛生士として必要な専門的知識と技術の獲得に加え、「口腔から健康をつくるスペシャリストを育成」することを目的とした専門基礎科目および専門科目を配置する。
3. 本校の教育コンセプトに理解のある実習施設において、口腔保健を担う専門家として歯科医療の場で協働・連携する能力や、自己を客観的に評価して自ら向上する態度を身につけるために臨地・臨床実習を配置する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1. 歯科衛生士として「深い人間愛」を持ち、一人ひとりに寄り添った口腔の健康のために支援を尽くすことができる人
2. 歯科衛生士としての必要な知識・技術の習得に、熱心に根気よく取り組むことができる人
3. 入学までの学習を通じて、他者とのコミュニケーション能力とその姿勢を備えている人